JAPAN TEACHERS' UNION ―教え子を再び戦場に送るな―

JTU ほっきゅう NO.29

2023.10.6 北九州市教職員組合にゅうす

第2期教研、開催される！no.5 ～分科会編～

～埼玉超勤訴訟を起こした「田中まさお」さんと一緒に考える私たち教職員の働き方～

NO.28からの続きです。

学校保健分科会

田中まさおさんのお話を聞きに来られた県教協の養護教員部長と朝鮮学校の１年担任と本市養護教諭２人の４人でした。朝鮮学校の先生から、フッ化物洗口について質問があり、学校で実施することのおかしさや大変さについてお話ししました。また、朝鮮学校には、保健室がないのでけがや病気の対応について質問しました。日頃当たり前にあるものの存在を改めて考えさせられました。そのほか、今年、市内全小学校で始まるフッ化物洗口の県内の他地区への影響が話題になりました。

職場の民主化と地域連携分科会

２期教研 職場の民主化分科会には、講師の「田中まさお」さん、スーパーアドバイザーの「安元隆治」さん、そして毎日新聞社の記者「山下智恵」さんと中学校3人小学校６人特支１人福退教３人そして専従２人の計18人が参加しました。はじめに田中まさおさんへの質問をいくつか受けました。その後参加者の勤務校の超勤の実態について話していただき田中さんからアドバイスをいただきました。安元さんから理想の学校像とはどんなものかを問われました。参加者からは、それぞれ、自分が思う学校像を話していただきました。子どもとの関係や管理職との関係など多岐にわたっていました。

気になった発言として、校長に意見を言うと「評価にひびく」と言われたことがあるためにものが言えない経験でした。どの学校の中でも意見が言いにくい状態は多くあり、職員会議が論議する場でなく単なる報告や決定事項の伝達の場になりつつあることも話されました。

今回の教研集会は事前の申し込み以上の参加者がありました。長時間労働や教員不足の問題がほとんど解決しないままの学校現場で、田中まさおさんの「裁判」は、多くの教職員が応援し、関心をもってその展開を注視していたことでしょう。その関心の表れが参加者増につながったと考えます。また今回は、朝鮮学校との教職員レベルでの関係づくりも前進させることができました。最後に朝鮮学校の先生の感想を載せてこのシリーズを終わります。

●いろんな学校の校則や、ジェンダーについての現状を知ることができ、自分の学校と比較し参考にすることができました。資料をたくさん紹介してもらい、いただくこともできました。活用します！（朝鮮学校 20 代）

●埼玉教員超勤訴訟のことを詳しく聞けて良かったです。教員の自主的で創造的な教育活動、すごく大切だと思います。私たち（朝鮮学校）も高校無償化裁判においてたくさん学び、たくさんの日本学校教職員の方々からの支援をいただきましたし、現在も支援をしていただいております。これからも友好親善、共に手をとり日本という社会において在日コリアンの私たちと未来を創っていきましょう。団結ガンバロー！（朝鮮学校 40 代）

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802－0072 小倉北区東篠崎３丁目4－1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp 北九州教育会館 TEL（093）953－0381